



TITLE:

<記事>2.臨海実習等

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>2.臨海実習等. 瀬戸臨海実験所年報 2011, 24: 3-5

ISSUE DATE:

2011-12-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179249>

RIGHT:

1. 概 要

平成 22 年度

◎ 職員等の移動

- ・ 原田 桂太氏を技術職員として採用（平成 22 年 4 月 1 日）。
- ・ 笠松 麻衣子氏を事務補佐員として採用（平成 22 年 4 月 1 日）。
- ・ 深見 裕伸氏辞職（平成 22 年 6 月 30 日）。
- ・ 砂田 明展主任が大学院医学研究科事務部より着任（平成 22 年 10 月 1 日）。
- ・ 白山 義久教授(所長) 辞職(平成23年3月31日)、山下 洋教授が実験所長に就任(平成23年4月1日)。
- ・ 大坪 博史事務掛長が情報学研究科情報基盤課共同利用支援グループに転出（平成 23 年 3 月 31 日）、砂田 明展主任が事務掛長に昇任（平成 23 年 4 月 1 日）。
- ・ 原田 百閑氏辞職（平成 23 年 3 月 31 日）。
- ・ 青山 弘氏辞職（平成 23 年 3 月 31 日）。
- ・ 諏訪 僚太氏辞職（平成23年3月31日）、学振研究員として受入（平成23年4月1日）。

◎ 行事・来訪者（地域貢献事業含む）

- ・ 和歌山県紀の国森づくり基金活用事業
「小・中・高・大連携による紀南地域の森林環境学習」を開催（平成 22 年 4 月 1 日～）。
- ・ 附属水族館「春休み解説ツアー」を開催（平成 22 年 4 月 1 日-4 月 7 日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「水族館の磯採集体験」を開催（平成22年4月17日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「バックヤード体験学習」開催（平成22年4月17日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「水族館の磯採集体験」を開催（平成22年5月15日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「バックヤード体験学習」開催（平成22年5月15日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「水族館の磯採集体験」を開催（平成22年6月12日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「バックヤード体験学習」開催（平成22年6月12日）。
- ・ 開館 8 0 周年記念特別展「内海富士夫展」開催（平成22年6月1日-平成22年12月31日）。
- ・ 附属水族館「夏休み解説ツアー」を開催（平成 22 年 7 月 21 日-8 月 31 日）。
- ・ 和歌山県田辺市立龍神小学校「水族館バックヤード」を開催（平成 22 年 11 月 9 日）。
- ・ 和歌山県上富田町立上富田小学校「水族館バックヤード」を開催（平成22年11月16日）。
- ・ NPO法人ハートツリー「水族館バックヤード」を開催（平成 22 年 11 月 24 日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「バックヤード体験学習」開催（平成22年12月4日）。
- ・ 附属水族館「冬休み解説ツアー」を開催（平成 22 年 12 月 25 日-23 年 1 月 10 日）。
- ・ 附属水族館「水辺環境教室」を開催（平成 23 年 1 月 29 日）。
- ・ きのくに県民カレッジ連携講座附属水族館「バックヤード体験学習」開催（平成23年2月26日）。
- ・ 和歌山県白浜町立児童館「水族館バックヤード」を開催（平成 23 年 3 月 19 日）。
- ・ 附属水族館「春休み解説ツアー」を開催（平成 23 年 3 月 25 日-3 月 31 日）。

2. 臨 海 実 習 等

◎ 平成 22 年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

（大学・実習科目・実習期間・受講学生数）

京都大学大学院理学研究科「インターラボ」	4/9-4/10	延	114 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海岸生物の生活史」			

京都大学少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「サンゴ礁生態学入門」	5/1-5/5	延	40 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「サンゴ礁生態学入門」	6/4-6/6	延	15 人・日
京都大学大学院理学研究科「最先端科学の体験型学習講座(ELCAS)」	6/11-6/13	延	6 人・日
京都大学公開臨海実習	8/2-8/3	延	72 人・日
京都大学臨海実習第 1 部	8/3-8/11	延	72 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）	8/3-8/11	延	63 人・日
「海産無脊椎動物一分類群と形の多様性」			
京都大学防災研究所少人数セミナー「空を観る・海を観る・川を観る」	8/26-8/30	延	20 人・日
京都大学臨海実習第 1・4 部	9/1-9/2	延	12 人・日
京都大学地球環境学・探求型化学実験―湖と海の化学調査―（全学共通科目実習）	9/1-9/9	延	81 人・日
京都大学防災研究所少人数セミナー「白浜海象観察所の海象観察実習」	9/9-9/13	延	65 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海洋生物の多様性」	9/15-9/16	延	32 人・日
京都大学大学院人間・環境学研究科生物学実習Ⅱ	9/21-9/24	延	40 人・日
京都大学公開臨海実習	3/3-3/6	延	80 人・日
	3/20-3/26	延	84 人・日
和歌山大学教育学部 臨海実習	4/15-4/19	延	80 人・日
奈良女子大学理学部 臨海実習Ⅱ	5/25-5/30	延	138 人・日
放送大学京都学習センター 面接授業「海洋生物の多様性」	6/12-6/13	延	40 人・日
大阪教育大学教育学部 臨海実習	6/13-6/17	延	85 人・日
奈良教育大学教育学部 臨海実習（野外実習 A－Ⅱ）	6/27-7/1	延	80 人・日
大阪市立大学院理学部 臨海実習	7/7-7/13	延	217 人・日
近畿大学農学部 環境生態学専門実験・実習	7/13-7/15	延	93 人・日
信州大学理学部 分析化学特論実習	7/29-8/2	延	95 人・日
関西学院大学理工学部 臨海実習	8/22-8/26	延	120 人・日
大阪大学大学院理学研究科 生物学臨海実習	8/26-8/31	延	138 人・日
放送大学京都学習センター面接授業「海洋と地球環境」	11/6-11/7	延	40 人・日
和歌山県立向陽高等学校 SSH 実習	4/29	延	4 人・日
奈良県立奈良高等学校 SSH サイエンスツアー	6/5-6/6	延	24 人・日
大阪府立住吉高等学校「水族生態理解のための臨海実習」	7/17-7/19	延	72 人・日
滋賀県立膳所高等学校 SSH 実習 第 4 1 回生物実習旅行	7/21-7/24	延	108 人・日
奈良女子大学附属中等教育学校 SSH サイエンス「夏の学校」	7/27-7/29	延	132 人・日
和歌山県立向陽高等学校 磯観察実習	8/9	延	4 人・日

兵庫県立尼崎小田高等学校 臨海実習	8/21-8/22	延	30 人・日
和歌山県立向陽高等学校 磯観察実習	9/4	延	5 人・日
奈良県立奈良北高等学校 「海の動物の多様性について」	10/8	延	42 人・日
兵庫県立姫路飾西高等学校 SSC (サイエンス・サーベイ・コース) 宿泊研修海洋実習	11/4-11/6	延	66 人・日
兵庫県立姫路飾西高等学校 SSC (サイエンス・サーベイ・コース) 宿泊研修海洋実習	11/11-11/13	延	66 人・日
大阪府立豊中高等学校 生物特別臨海実習	1/7-1/9	延	48 人・日

(計) 京都大学	13 件	延	640 人・日
公開臨海実習	2 件	延	156 人・日
他大学国立	6 件	延	616 人・日
公立	1 件	延	217 人・日
私立	4 件	延	293 人・日
その他	12 件	延	601 人・日
(総計)	38 件	延	2,523 人・日

○ 公開臨海実習は「海洋生物学、特に生態学・分類学・形態学・発生学」と題して学部生を対象に実施し、日本獣医生命科学大学・東京大学からの学生 4 名が受講した。

○ 公開臨海実習は「海洋無脊椎動物の多様性と進化」と題して学部生を対象に実施し、京都府立大学・熊本大学・北海道大学・信州大学・日本獣医生命科学大学・東京電機大学からの学生 8 名が受講した。

3. 研究会・来訪研究者

○第 23 回瀬戸海洋生物学セミナー

話題提供 市川和彦 北海道大学触媒化学研究センター

”海の生き物の石灰化と二酸化炭素の取り込み-海洋酸攻撃-” (2010 年 11 月 21 日)

来訪研究者は次の通りであった。

○平成 22 年度(2010 年 4 月 1 日－2011 年 3 月 31 日)

学内	13 名	43 日
(内外国人	0 名	0 日)
他国立大学	74 名	233 日
(内外国人	0 名	0 日)
公立大学	1 名	1 日
(内外国人	0 名	0 日)
私立大学	16 名	84 日
(内外国人	1 名	2 日)
公立研究所・博物館	33 名	79 日